

【施策評価調査】

施策名	5-4-2	体験型・伝統芸能子ども教室の開催		122	高根沢町の文化・芸術を振興、発展に向け、文化活動参加機会の充実、優れた文化芸術鑑賞機会の提供、伝統芸能指導体制の強化などに積極的に取り組みます。 その一つとして、伝統文化、伝統芸能に直接触れる機会を提供することで、ものを大切にする心を育てるとともに、文化・芸術を身近に感じられることとなり、町の活性化、ふるさと意識の醸成を図ることとなります。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	教育部 生涯学習課	担当	社会教育担当		環境変化
		リーダー	横塚恵子		
環境変化	特になし				施策内容
					体験型教室、伝統芸能教室、高齢者と児童とが交流する機会(むかしあそび)を積極的に提供し、郷土の歴史に関する理解を促し、ふるさと高根沢への意識高揚を図ります。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：体験型教室年間参加者数(人)		計画	50人	60人	70人	80人	100人
	新規	実績	217人	257人	258人		
指標：伝統芸能教室参加者数(人)		計画	50人	60人	70人	80人	100人
	新規	実績	465人	503人	603人		
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	563,000	747,000	549,000	0	
	決算	152,839	655,259	392,674		

事務事業事前評価 22年度の組立て

施策傘下事務事業	事業費	活動指標(アウトプット)	事業の実施によって、施策達成にどう貢献しますか？(アウトカム)	今後の方向性(総合評価)	条件付継続
(再掲)青少年対象・自然体験活動支援事業費	H21 現計 1,436,000	事業参加人数 2,000人	青少年に豊かな自然体験と集団生活体験の場を提供し、経験や体験によって得た力をもとに課題解決に向けて能動的に動き出すような青少年を育てます。また、地域の大人やジュニアリーダーなど、多くの人々と接する機会を通して、心身両面から明るく心豊かで健康な青少年の育成及び地域においてリーダーとして活躍する人材を育成します。さらに、親も参加することで、「親としての力」を向上させることにつながります。	今後の方向性(総合評価)	条件付継続
	H22 計画 1,385,500				
高根沢町湧泉太鼓補助金	H21 現計 300,000	活動回数	高根沢町のイメージアップが図れるとともに、本町の伝統文化として、伝承発展させ、町民の芸術、文化意識を高め、他地域との交流を深めることになります。太鼓の普及活動を活発に行うことで、伝統芸能の指導体制の強化につながります。	今後の方向性(総合評価)	継続
	H22 計画 300,000				
	H21 現計			今後の方向性(総合評価)	
	H22 計画				
	H21 現計			今後の方向性(総合評価)	
	H22 計画				
	H21 現計			今後の方向性(総合評価)	
	H22 計画				

施策事前評価 22年度の組立て

自己評価	後期計画に向けた施策展開のビジョン		H22年度の狙い
	今後の方向性	「5-2-1自然・体験活動への支援」に統合し、町の文化・芸術を振興するために、自然体験・文化活動などの機会の場を充実させるとともに、伝統芸能指導体制の強化にもつなげていきます。	
規模縮小			
総合評価	総合評価		
	後期計画に向け、単発的に施策展開するのではなく、生涯学習の他の施策や他の分野の施策と抱き合わせにすることにし、当施策の舵切りをすることを評価する。		